

(案)

令和8年度 ひきこもり支援従事者研修会（兼ひきこもりサポーター養成研修） 実施要領

1 目 的

近年、ひきこもり相談の内容や背景は多様化し、支援者には個々の状況に応じた柔軟で丁寧な相談支援が求められています。本研修では、プロセスレコードの活用と、当事者・家族の体験を聴く学びを通じて、支援者が自身の相談支援を振り返る機会とし、ひきこもり支援の理解を深めることを目的とします。

また、ひきこもり状態にある本人及び家族の尊厳と意思を尊重した支援が地域で実践されるよう、相談支援の質の向上を図ることを目指します。

2 主 催

新潟県精神保健福祉センター（新潟県ひきこもり地域支援センター）

3 共 催

新潟県社会福祉協議会

4 日 時

令和8年10月13日（火）午前10時30分から午後4時00分まで（午前10時受付開始）

5 会 場

新潟県自治会館 1階講堂

6 対 象

市町村や相談機関等でひきこもり支援に従事する者（定員80人程度）

7 内 容（予定）

時 間	内 容
午前10時30分～	開会
午前10時35分～ 午前10時55分	行政説明 ・「新潟県におけるひきこもり支援に関する状況とひきこもり地域支援センターの活動について」 ・小冊子「ひきこもりの理解のために」の活用について 説明者 新潟県精神保健福祉センター 主査 松永 ひとみ
午前10時55分～ 午前12時10分	講義・グループワーク「気がかりな場面から自分の関わり方を振り返る プロセスレコード（※）の活用（仮）」 講師 長岡崇徳大学 客員教授 斎藤 まさ子 先生 ・架空事例をもとにプロセスレコードを用いて事例検討し、支援者が自分の相談支援を振り返る。
～午後1時10分	休憩
午後1時10分～ 午後1時50分	当事者の体験発表「ひきこもり経験と家族への思い（仮）」 発表者 NPO法人プエルタ・ハル 当事者の方 代表 斎藤 勇太 氏 ファシリテーター：長岡崇徳大学 客員教授 斎藤 まさ子先生
～午後2時00分	休憩
午後2時00分～ 午後4時00分	家族の体験発表・グループワーク「家族の率直な思い（仮）」 発表者 トモニーながおか（長岡市） 穂刈 厚子 氏 フォルトネット小千谷（小千谷市） 柳田 君枝 氏 フォルトネット（十日町市） 関口 美智江 氏 ファシリテーター：長岡崇徳大学 客員教授 斎藤 まさ子先生
午後4時	閉会

(案)

※プロセスレコードとは

会話や行動、そのときの感情や考えを時系列で記録し、その記録を分析・考察することで支援技術やコミュニケーション力を高めるための記録方法。

8 申込み

- ・ 9月25日(金)午後5時までに、新潟県電子申請システムからお申し込みください。受講希望者お一人ずつ、申し込みが必要です。

申込 URL:

https://apply.e-tumo.jp/pref-niigata-u/offer/offerList_detail?tempSeq=34225

- ・ 左記のQRコード、新潟県精神保健福祉センターのホームページ「令和8年度ひきこもり支援従事者研修会」内のリンクからもアクセスできます。
- ・ 定員を超過する申し込みがあった場合には、受講をお断わりする場合があります。その場合は、主催者から連絡しますので、御承知おきください。



9 その他

- (1) 受講に関する連絡がある場合は、受付完了後、電子申請システムに入力されたメールアドレス宛てに、メールにて連絡します。
- (2) 研修資料として、研修受講者名簿を添付する予定です。氏名、所属名、職種について、受講者名簿に登載しますので、あらかじめ御了解ください。
- (3) 本研修会は、ひきこもりサポーター養成研修を兼ねて開催します。受講者（市町村及び県機関の職員を除く）は、ひきこもりサポーター（*）に登録できるため、申込フォームに登録希望の有無を入力ください。

（*）ひきこもりサポーター：ひきこもりサポーター派遣事業実施主体（市町村）の要請を受け、ひきこもり状態にある者への訪問や「居場所」の運営に協力することなどで本人及びその家族を支援する。

- (4) 当日は駐車場が混みあうことが予想されます。県庁外来駐車場は使用できません。時間に余裕をもってお越しいただくとともに、できるだけ公共交通機関を利用くださるようお願いします。

10 問い合わせ先

新潟県精神保健福祉センター（新潟県ひきこもり地域支援センター） 担当：松永

電話：025-280-0111 E-mail：ngt043040@pref.niigata.lg.jp